

ロボットについての全国調査

2014年12月調査結果

 **日本リサーチセンター**
Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1
TEL:03-6667-3400(代) FAX:03-6667-3470
<http://www.nrc.co.jp/>

◆このところ、ものまねをしたり、走ったり、踊ったりするヒト型ロボットが話題になっている。

そんなロボットに対する一般の人々の意識を聞いてみた。

調査は、日本全国の15～79歳男女を対象に、訪問留置法という手法で、2014年11月28日～12月10日に実施した。

(エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割りつけており、全体数字は、エリアや年代で偏りが無い結果となっている)

【1】 あなたがご存知のロボットは？

◆ 「ASIMO」(69.3%)、「AIBO」(55.7%) が半数を超え、1位、2位。

【2】 「ロボットがあればいい・助かる」と思う生活シーンは？

◆ 1位は「掃除」(51.3%)、2位は「防犯」(44.3%)、3位は「介護」(31.1%)。

◆ 1位2位の「掃除」「防犯」は50代以下でより高く、3位の「介護」は50代以上で高い傾向。

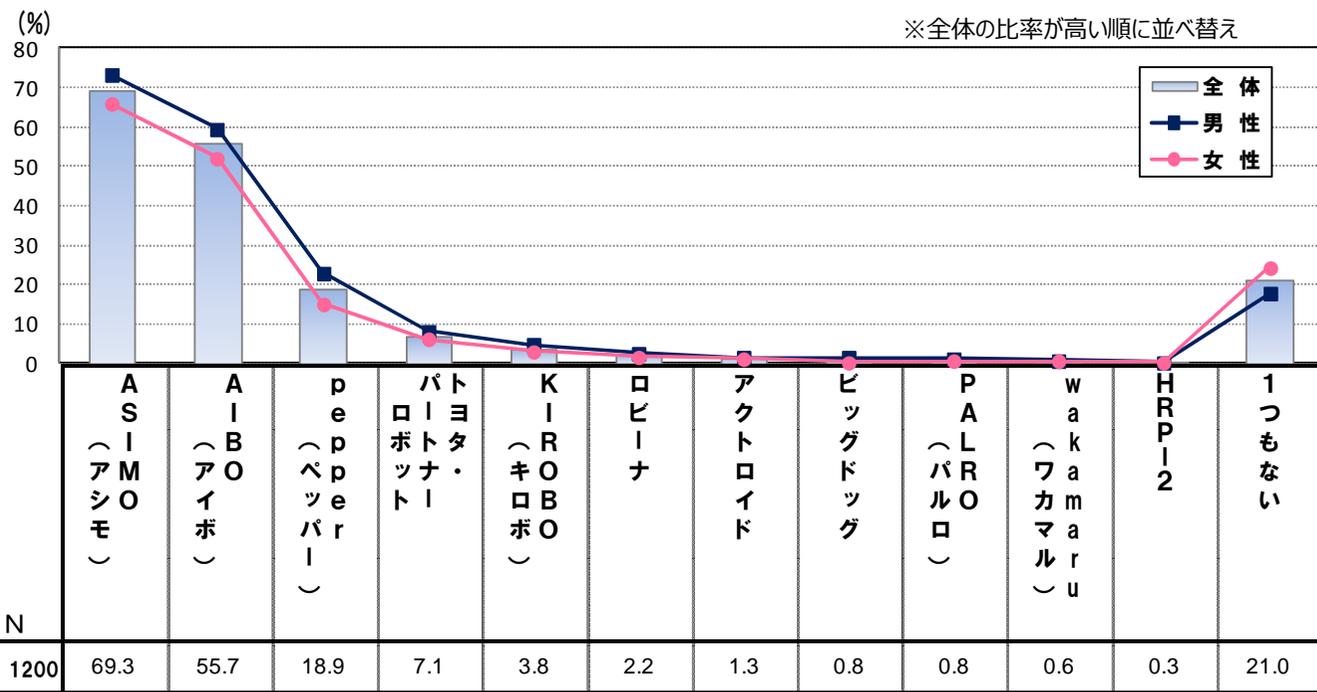
【3】 日常生活シーンの中でロボットが関与・サポートする時代は何年以内に到来すると思う？

◆ 「5年以内」は1割程度、「わからない・想像できない」が3分の1を占める。

「ASIMO」(69.3%)、「AIBO」(55.7%)が半数を超え、1位、2位

- 今回聴取した11種のロボットについての認知度の順位は、「ASIMO」が69%で最も高く、「AIBO」が56%と半数を超えて2位。続いて「pepper」が2割程度。この3つ以外はいずれも1割未満とほとんど知られていない。
- 男女で比較すると、男性の方が全般にロボット名の認知がやや高い傾向があり、知っているものが「1つもない」は女性が男性を上回る。
- 年代別に比較すると、20代～50代では「ASIMO」や「AIBO」の認知度が全体より高く（「ASIMO」はいずれも7割超、「AIBO」はいずれも6割超）、「pepper」は40代以下で2割を超え高い傾向。
- なお、50代以下では、知っているものが「1つもない」が2割以下だが、60代では26%、70代では54%と半数を超え、60代以上で認知率が低い。

問1 以下のロボットの中で、あなたご存知のロボットをすべてお知らせください。(いくつでも)



	N	ASIMO (アシモ)	AIBO (アイボ)	pepper (ペッパー)	パトヨタ・ロボット	KIROBO (キロボ)	ロビーナ	アクトロイド	ビッグドッグ	PALRO (パルロ)	wakamaru (ワカマル)	HRP2	1つもない
全体	1200	69.3	55.7	18.9	7.1	3.8	2.2	1.3	0.8	0.8	0.6	0.3	21.0
男性	594	73.1	59.4	22.9	8.1	4.7	2.7	1.5	1.5	1.2	0.7	0.3	17.7
女性	606	65.7	52.0	15.0	6.1	3.0	1.7	1.2	0.2	0.5	0.5	0.2	24.3
15～19才	72	70.8	41.7	25.0	11.1	6.9	5.6	4.2	2.8	2.8	1.4	1.4	19.4
20代	151	74.2	66.2	32.5	5.3	5.3	0.7	-	1.3	-	0.7	-	11.3
30代	198	79.3	75.3	26.8	4.0	3.5	2.5	1.0	1.0	1.5	1.0	0.5	8.6
40代	210	76.2	66.2	25.7	7.1	3.8	3.3	0.5	1.0	1.0	0.5	-	16.2
50代	181	78.5	66.9	18.2	5.5	1.7	2.8	1.1	-	1.1	0.6	-	12.7
60代	224	65.2	42.0	8.5	8.9	5.8	1.3	1.3	0.9	0.4	0.4	0.4	26.3
70代	164	39.0	21.3	0.6	9.8	1.2	0.6	3.0	-	-	-	-	53.7

全体より10pt以上高い
 全体より5pt以上高い
 全体より5pt以上低い
 全体より10pt以上低い

1位は「掃除」(51.3%)、2位は「防犯」(44.3%)、3位は「介護」(31.1%)

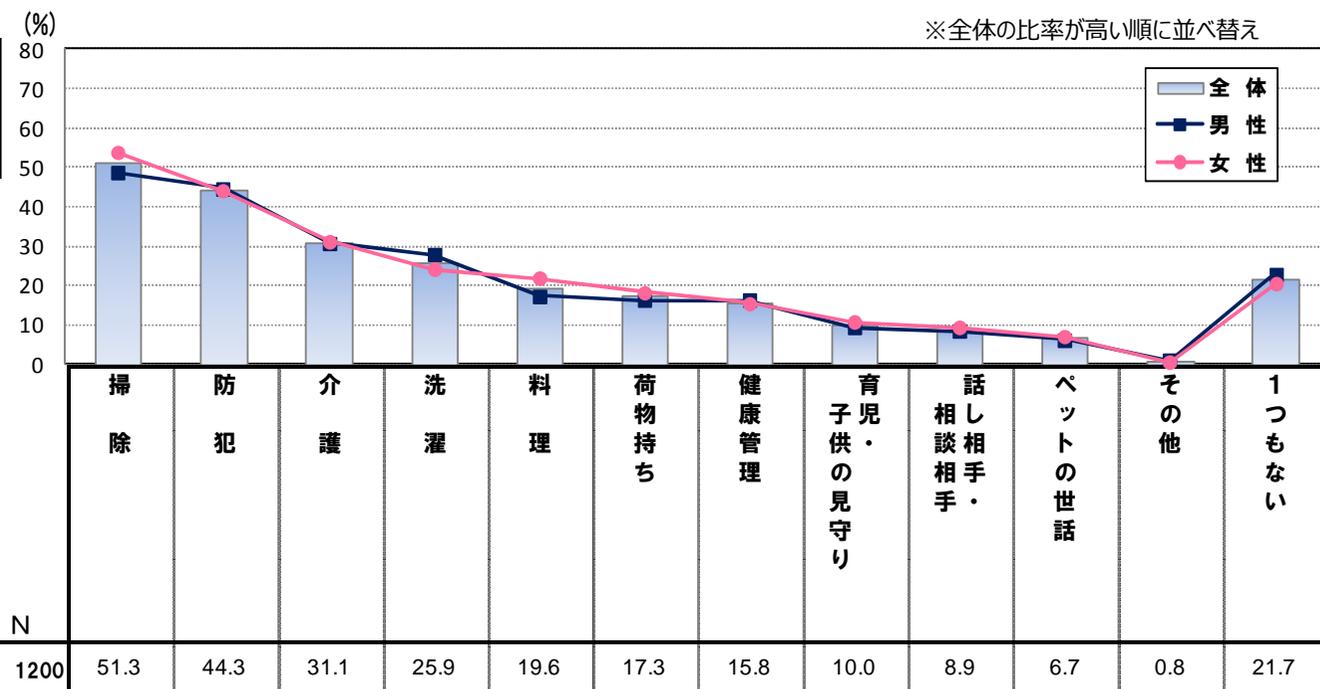
■今回聴取した10の生活シーンの中で、ロボットがあればいい・助かると思う生活シーンとして最も多かったのは「掃除」で半数(51%)、2位は「防犯」(44%)、これに「介護」(31%)、「洗濯」(26%)が続き、5位の「料理」以降は2割以下。なお、そういったシーンが「1つもない」は22%であった。

■男女では大きな違いは見られない。

■年代別で比較すると、全体で1位、2位の「掃除」「防犯」は30代でより高く、3位の「介護」は50代以上で高い傾向。

また、「洗濯」は20代以下、「育児・子供の見守り」は30代で、他年代より高い傾向があり、各年代でロボットがあればいい・助かると思うシーンの傾向が異なっている。なお、50代以下では、知っているものが「1つもない」が2割以下だが、60代では26%、70代では34%であった。

問2 以下の生活シーンの中で、あなたが「ロボットがあればいい・助かる」と思う生活シーンをすべてお知らせください。(いくつでも)



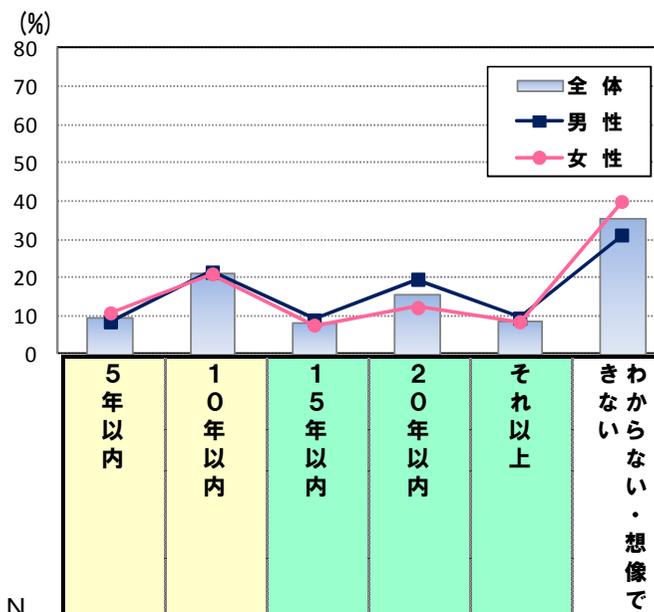
	N	掃除	防犯	介護	洗濯	料理	荷物持ち	健康管理	育児・子供の見守り	話し相手・相手	ペットの世話	その他	1つもない
全体	1200	51.3	44.3	31.1	25.9	19.6	17.3	15.8	10.0	8.9	6.7	0.8	21.7
男性	594	48.7	44.6	30.8	27.8	17.3	16.3	16.2	9.4	8.4	6.2	1.0	22.9
女性	606	53.8	43.9	31.4	24.1	21.8	18.3	15.5	10.6	9.4	7.1	0.5	20.5
15~19才	72	56.9	48.6	26.4	31.9	22.2	22.2	12.5	8.3	4.2	5.6	1.4	15.3
20代	151	54.3	47.7	31.8	41.7	25.2	22.5	22.5	13.9	9.3	7.9	0.7	15.9
30代	198	61.1	51.5	23.7	28.3	21.2	15.2	13.1	21.7	5.6	6.6	2.0	17.7
40代	210	54.3	47.6	29.5	26.7	23.8	16.7	15.7	11.0	9.5	7.1	1.0	19.0
50代	181	55.2	49.2	37.6	24.3	19.9	19.3	16.0	5.0	11.6	8.8	0.6	19.9
60代	224	45.5	34.8	33.5	18.8	13.4	15.2	14.7	7.6	9.8	7.1	-	25.9
70代	164	33.5	33.5	32.9	16.5	14.0	14.6	15.9	0.6	9.8	2.4	-	34.1

全体より10pt以上高い
 全体より5pt以上高い
 全体より5pt以上低い
 全体より10pt以上低い

「5年以内」は1割程度、「わからない・想像できない」が3分の1を占める

- ロボットが日常生活に關与する時代が到来する時期が「5年以内」という回答は10%で、これに「10年以内」を加えると31%（「10年以内計」）、それ以上長い期間かかるという回答（「それ以上計」）が33%、「わからない・想像できない」が36%で、「10年以内計」「それ以上計」「わからない」でほぼ3等分となっている。
- 男女を比較すると、「10年以内計」は男女とも同程度だが、「それ以上計」が男性の方が高く、「わからない」は女性の方が高い。
- 年代別に比較した場合、「10年以内計」と「それ以上計」の關係に注目すると、30代以下では「それ以上計」の方が高く、40代は同程度で、50代以上では「10年以内計」の方が高い。

問3 あなたは、上記のような生活シーンにロボットが日常生活の中で關与・サポートする時代が、今から何年以内に到来すると思いますか。（1つだけ）



		N							
		5年以内	10年以内	15年以内	20年以内	それ以上	わからない・想像できない	10年以内計	それ以上計
全体	1200	9.5	21.2	8.3	15.8	8.9	35.6	30.7	33.0
男性	594	8.4	21.5	9.1	19.4	9.6	31.1	30.0	38.0
女性	606	10.6	20.8	7.4	12.4	8.3	39.9	31.4	28.1
15~19才	72	4.2	19.4	13.9	13.9	8.3	38.9	23.6	36.1
20代	151	5.3	16.6	9.3	25.2	15.2	28.5	21.9	49.7
30代	198	8.1	16.7	8.1	21.2	12.6	32.8	24.7	41.9
40代	210	10.5	18.6	4.3	17.6	10.0	39.0	29.0	31.9
50代	181	16.6	24.3	9.9	12.7	8.3	28.2	40.9	30.9
60代	224	10.7	28.1	8.5	11.6	4.0	36.2	38.8	24.1
70代	164	6.7	22.0	7.9	8.5	4.9	47.0	28.7	21.3

全体より10pt以上高い
 全体より5pt以上高い
 全体より5pt以上低い
 全体より10pt以上低い

(%) ※5ポイント以上差があれば><をマーク

調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人

有効回収数

- 1200人(サンプル) ※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付実施

サンプリング

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て

調査期間

- 12月調査 2014/11/28 ～ 2014/12/10

NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では回収が難しい60代以上や、インターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先: [日本リサーチセンター広報室](mailto:information@nrc.co.jp) メール: information@nrc.co.jp

掲載では必ず当社クレジットを明記していただきますようお願い致します。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。